



成
海
記

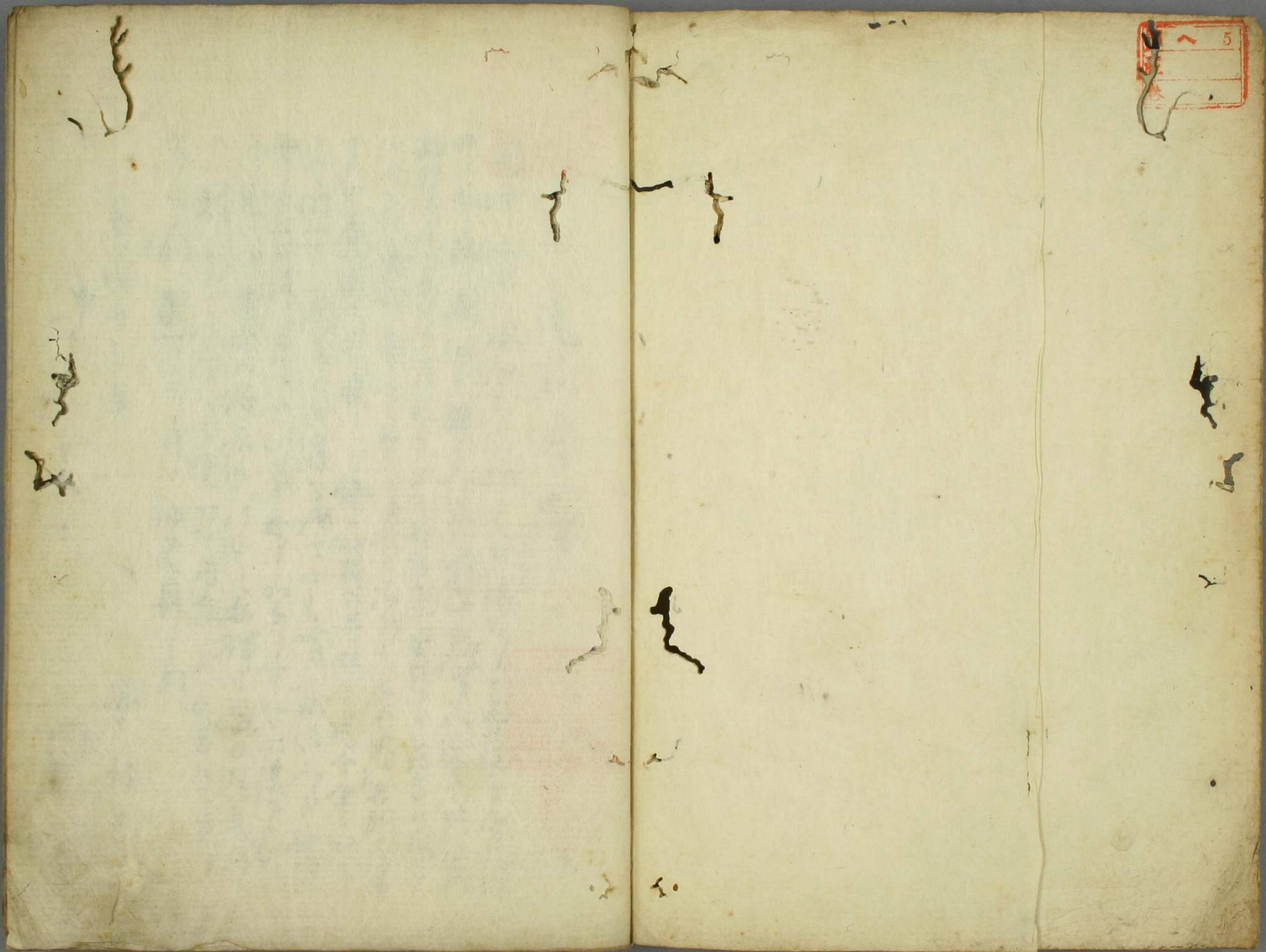


~ 5
1919





5



5

新秋伝

玉を産む鳩の浮葉や池の月
何て飛むかうの月連
日幸山も高麗るるの筆
雪う度障子あこれ又寒
家うちちて雪より猫に家
法名とついで信達形せ
金平の石起いも芝居とて
ハ羽衣後高の屏あはれ
午ののりもり茶のり
新米中相場よつれさる月
娘あちつる舞の文育
幸用下り去年留木のす
残

乙由
昇角
曾北
范字
茂秋
吾仲
角
由
字
北
仲
秋
由

はゆきありあつた風
外倉持持斎の寺へ
蒼野の町と城の葉
但の治高の寫下り
傳受しこれゆきの
馬凡也一死
吟初秋とらるる
琴の秘あり人
而少れ餅の泉の
佛の待って浄土
菩提樹一掃敷り
洋の国は村を
傾城の下の雨の

秋字北角
仲北
字由
角仲
秋字
北角

紅白菊も花はあ 山茶花
 献之すつああ氣いあうり
 身らあへ暑い唐僧の髻
 今の向のありあうりあうり
 朝日の影の影の影の影の影
 跡をやうあうりあうりあうり
 奉之六の葉も葉一紙



仲角由北字仲秋

即興



いさぎのせきありや夏の月
 内月乃波よむのや菱乃花
 市浪よむむの涼月の影
 清土舞て蚊とぬする月見
 月涼文通若れぬりや座禪石
 月影池子泣くすすすす
 瓜子乗る他人漢や池乃月

昇角
 茂秋
 吾仲
 范字
 曾北
 免士
 萱牛

野山... 家... 金... 我... 十六... 暮... 七... 名... 樞... 吹... 又... 又...
野山... 家... 金... 我... 十六... 暮... 七... 名... 樞... 吹... 又... 又...
野山... 家... 金... 我... 十六... 暮... 七... 名... 樞... 吹... 又... 又...

文竹... 凉... 東... 岸... 春... 温... 素... 梅... 乙... 樓... 受... 南... 入... 何...
文竹... 凉... 東... 岸... 春... 温... 素... 梅... 乙... 樓... 受... 南... 入... 何...

辛... 新... 人... 大... 五... 七... 案... 幸... 十... や... 秋... 櫻...
辛... 新... 人... 大... 五... 七... 案... 幸... 十... や... 秋... 櫻...
辛... 新... 人... 大... 五... 七... 案... 幸... 十... や... 秋... 櫻...

里... 已... 東... 如... 洞... 龜... 南... 桃... 畔... 素... 百... 坐... 蘭... 杜... 八...
里... 已... 東... 如... 洞... 龜... 南... 桃... 畔... 素... 百... 坐... 蘭... 杜... 八...

此一卷之八俾也及故乃中より
一紙をゆき竹稿をあまの
ていもの也

之文四年

己未

霜月

太室曆三年 癸酉 中繩 十日 寫之

淡江氏桂流早

鶴飼輕舟氏乞之別其望任所也

振毫者

物亦堂主人

神其方

齒二十三

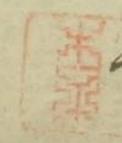
一之昭六 丙午 太師丹也

佳本先中より受之

主

筆中令

筆書



Handwritten mark or characters in the top left corner.

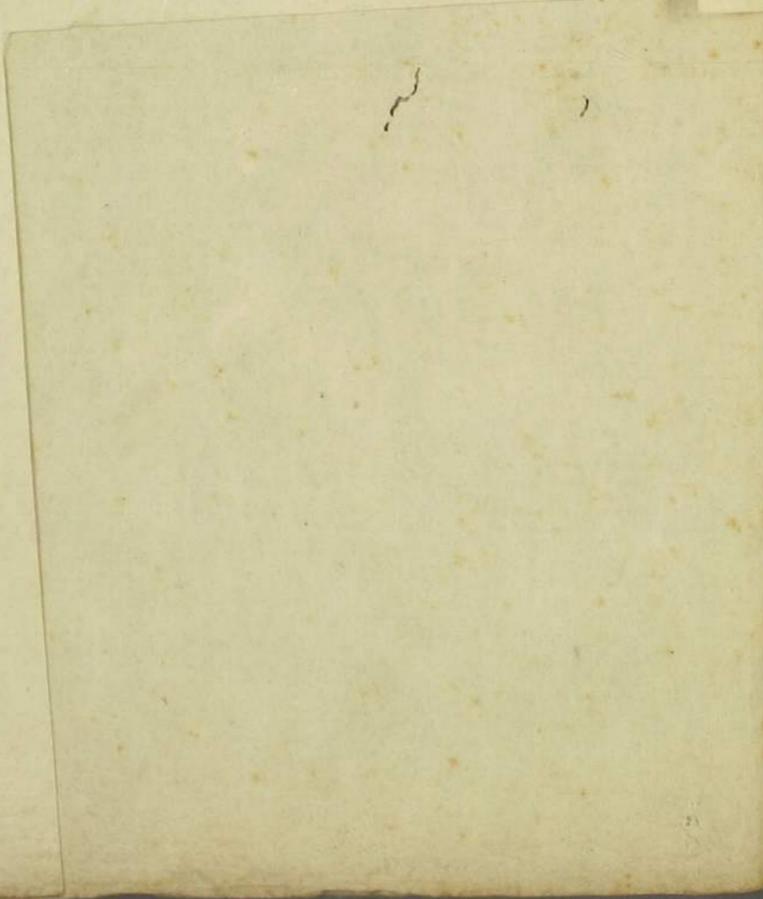
Small handwritten mark or characters near the top edge.

Small handwritten mark or characters near the center.



Small handwritten mark or characters near the bottom left.

Small handwritten mark or characters near the bottom left.



Handwritten mark or characters in the top right corner.

Handwritten mark or characters in the middle right.

Main handwritten text in the center of the right page, written vertically.

Additional handwritten text or notes on the right page, including some faint markings.

